

肝機能検査

●AST(GOT)とALT(GPT)

ASTは、心臓・筋肉・肝臓に多く存在する酵素です。ALTは肝臓に多く存在する酵素です。数値が高い場合は急性肝炎、慢性肝炎、肝臓がん、アルコール性肝炎などが疑われます。ASTのみが高い場合には心筋梗塞、筋肉疾患などが考えられます。

	基準範囲	要注意	異常
AST	30以下	31～50	51以上
ALT	30以下	31～50	51以上

(単位 U/L ユニットパーリットル)

●γ-GTP

肝臓や胆道に異常があると血液中の数値が上昇します。数値が高い場合は、アルコール性肝障害、慢性肝炎などの肝障害が疑われます

基準範囲	要注意	異常
50以下	50～100	101以上

(単位 U/L ユニットパーリットル)

結果のみかた

基準範囲 : 問題ありません。

要注意 : 3～6ヶ月後に再検査をお勧めします。

ただし、症状がある場合は病院を受診してください。

異常 : 異常が認められますので病院を受診してください。

腎機能検査

●尿酸(UA)

尿酸値が高い状態を高尿酸血症といい、放置していると痛風や尿路結石などを引き起こします。また尿酸値が高くなるとCKD(慢性腎臓病)になる確率が高くなるといわれています。

要注意	基準範囲	要注意	異常	
2.0以下	2.1～7.0	7.1～8.9	9.0以上	(単位 mg/dl)

●クレアチニン(Cr)

腎臓が正常に働いていれば尿として体外に排泄される物質です。
数値が高いと腎臓の機能が低下していることを意味します

	基準範囲	要注意	異常	
男性	1.00以下	1.01～1.29	1.30以上	
女性	0.70以下	0.71～0.99	1.00以上	(単位 mg/dl)

結果のみかた

基準範囲 : 問題ありません。

要注意 : 3～6ヶ月後に再検査をお勧めします。

ただし、症状がある場合は病院を受診してください。

異常 : 異常が認められますので病院を受診してください。

貧血検査

●赤血球(RBC)

肺で取り入れた酸素を全身に運び、不要となった二酸化炭素を回収して肺に送る役目を担っています。赤血球の数が多すぎれば多血症、少なすぎれば貧血が疑われます。

	異常	要注意	基準範囲	要注意	異常
男性	359以下	360~399	400~539	540~599	600以上
女性	329以下	330~359	360~489	490~549	550以上

(単位 10⁴/μL マイクロリットル)

●血色素(Hb:ヘモグロビン)

赤血球の中に含まれるヘムたんぱく質で、酸素の運搬役を果たします。減少している場合鉄欠乏性貧血などが考えられます。

	異常	要注意	基準範囲	要注意	異常
男性	11.9以下	12.0~13.0	13.1~16.6	16.7~17.9	18.0以上
女性	10.9以下	11.0~12.0	12.1~14.6	14.7~15.9	16.0以上

●ヘマトクリット(Ht)

(単位 g/dl)

血液全体に占める赤血球の割合をいいます。

数値が低ければ鉄欠乏性貧血などが疑われ、高ければ多血症、脱水などが考えられます。

	異常	要注意	基準範囲	要注意	異常
男性	35.3以下	35.4~38.4	38.5~48.9	49.0~50.9	51.0以上
女性	32.3以下	32.4~35.4	35.5~43.9	44.0~47.9	48.0以上

●白血球(WBC)

(単位 %)

細菌から体を守る働きをしています。数値が高い場合は感染症や炎症、腫瘍の存在が疑われます。

異常	要注意	基準範囲	要注意	異常
2.5以下	2.6~3.1	3.2~8.5	8.6~8.9	9.0以上

●血小板(PLT)

(単位 10³/μL マイクロリットル)

出血を止める働きをします。血小板が少ないと出血しやすくなり、多すぎると血栓の原因ともなります。

異常	要注意	基準範囲	要注意	異常
9.9以下	10.0~12.9	13.0~34.9	35.0~39.9	40.0以上

(単位 10⁴/μL マイクロリットル)

結果のみかた

基準範囲:問題ありません。

要注意 :3~6ヶ月後に再検査をお勧めします。ただし、症状がある場合は病院を受診してください。

異常 :異常が認められますので病院を受診してください。

脂質検査

●中性脂肪(TG:トリグリセリド)

エネルギー源として消費されるものですが、多くなると皮下脂肪・内臓脂肪として蓄えられます。数値が高いと動脈硬化を進行させます。

要注意	基準範囲	要注意	異常
29以下	30～149	150～399	400以上

(単位 mg/dl)

●HDLコレステロール

善玉コレステロールと呼ばれるものです。血液中の悪玉コレステロールを回収します。数値が低いと脂質代謝異常、動脈硬化が疑われます。

異常	要注意	基準範囲	異常
29以下	30～39	40～119	120以上

(単位 mg/dl)

●LDLコレステロール

悪玉コレステロールと呼ばれるものです。多すぎると血管壁に蓄積して動脈硬化を進行させます。

要注意	基準範囲	要注意	異常
59以下	60～119	120～179	180以上

(単位 mg/dl)

結果のみかた

基準範囲 : 問題ありません。

要注意 : 3～6ヶ月後に再検査をお勧めします。

ただし、症状がある場合は病院を受診してください。

異常 : 異常が認められますので病院を受診してください。

医療法人社団 幸正会 岩槻南病院

糖尿病検査

●血糖値

血液中のブドウ糖のことです。数値が高い場合は糖尿病の疑いがあります。

基準範囲	要注意	異常
99以下	100～125	126以上

(単位 mg/dl)

●HbA1c(NGSP)

過去1～2ヶ月の血糖の平均的な状態を反映しています。

基準範囲	要注意	異常
5.5以下	5.6～6.4	6.5以上

(%)

結果のみかた

基準範囲 : 問題ありません。

要注意 : 3～6ヶ月後に再検査をお勧めします。
ただし、症状がある場合は病院を受診してください。

異常 : 異常が認められますので病院を受診してください。

医療法人社団 幸正会 岩槻南病院

尿検査

●尿たんぱく質

血液は腎臓の中の不要物だけが濾過され、尿中に排泄されます。
正常であれば血液中のたんぱく質は腎臓ですべて再吸収されます。
腎機能が低下すると体にとって必要なたんぱくが腎臓から漏れ出てきます。

基準範囲	要注意	異常
陰性(-)	(+)(±)	2+以上

●尿糖

血液中の糖濃度が高くなると腎臓で再吸収しきれなくなり尿中に糖が漏れ出てきます。
糖尿病で陽性となります。

基準範囲	要注意	異常
陰性(-)	(±)	(+)

●尿潜血

尿の通り道のどこかに出血がないかを調べます。尿路結石、膀胱炎で陽性になります。

基準範囲	要注意	異常
陰性(-)	(+)(±)	2+以上

結果のみかた

基準範囲 : 問題ありません。

要注意 : 3~6ヶ月後に再検査をお勧めします。
ただし、症状がある場合は病院を受診してください。

異常 : 異常が認められますので病院を受診してください。

医療法人社団 幸正会 岩槻南病院

心臓(心筋梗塞)・膵機能検査

●血清アミラーゼ (AMY)

唾液・膵液に含まれる消化酵素。唾液腺・膵臓の炎症時に上昇します。

基準範囲	要注意	異常
40～122	123～149	150以上

(単位 U/L ユニットパーリットル)

●クレアチンキナーゼ (CPK)

骨格筋、心筋に含まれる酵素です。骨格筋の障害や心筋梗塞時に上昇します。また激しい運動をした後にも上昇することがあります。

	基準範囲	要注意	異常
男性	60～270	271～539	540以上
女性	40～150	151～299	300以上

(単位 U/L ユニットパーリットル)

*** 結果のみかた ***

基準範囲 : 問題ありません。

要注意 : 3～6ヶ月後に再検査をお勧めします。

ただし、症状がある場合は病院を受診してください。

異常 : 異常が認められますので病院を受診してください。

医療法人社団 幸正会 岩槻南病院

心不全検査

●BNP

心臓に負担がかかると心臓から血液に分泌されるホルモンで、数値が高いほど心臓に負担がかかっているといえます。呼吸困難の一番の原因は心不全という報告があります。心不全の早期発見・早期治療のためにこの検査は重要です

基準範囲	要注意	異常
18.4以下	18.5～99	100以上

(単位 pg/dl)

* 結果のみかた *

基準範囲 : 問題ありません。

要注意 : 3～6ヶ月後に再検査をお勧めします。
ただし、症状がある場合は病院を受診してください。

異常 : 異常が認められますので病院を受診してください。

医療法人社団 幸正会 岩槻南病院